

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	3月末より、現在の所在地とは別の場所へ移転となるため、また新しい環境で地域との関係性を築いていく必要がある。	地域の方や、ほかの近隣施設とのつながりを持ち、お互いに助け合ったり、協力できる体制を構築したい。	まずは新しく移転したGHを知って頂き、地域の方々や、近隣施設職員と、職員が馴染みの関係を築く。(防災訓練や研修会などの実施。) また、ご利用者さんと一緒に散歩をしたりしながら、挨拶を交わしたりできる顔馴染みの関係を築く。	12ヶ月
2	4	新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、顔を合わせる機会が減ってしまい、報告のみの一方的なものになってしまった。また、移転後は、共用型通所介護がなくなってしまったので、第三者や外部からの視点が減ってしまう。	閉鎖的な施設にならないように、外部との交流や意見交換・情報を収集し、ニーズに応えながら質の高いサービスを提供していく。	運営推進会議が、書面開催になってしまう場合には、意見を頂けるように、返信用の封筒を同封し、意見がいただけような工夫をする。 研修(リモートも含む)に積極的に参加できるような勤務体制を作り、新しい情報を取り入れ、職員はそれを他の職員に周知することができる。	2ヶ月 12カ月
3	10 19	家族会の実施。また、ご家族同士の関わりについて。新型コロナウイルスの影響で会う機会が減ってしまった。	イベントや行事にこだわらず、ご家族もご利用者さんを支えることが継続できたり、顔を見ることができるようになる。 同じGHを利用してくださっているご家族様同士がお話できる機会を設け、サービスに反映していく。	GHの移転により、庭が大きくなった。立ち上げの段階で整備できていない部分が多いので、ご利用者やご家族様にも協力をいただきながら、花を植えたり、家庭菜園を作ったりしながら、GHを訪れていただく機会を設ける。	10ヶ月
4	13 26 27	未経験職員の育成や、認知症に対する理解。また職員のスキルアップ。研修参加が減ってしまっている。	職員が研修に(リモートも含む)積極的に参加する。 地域の中で「認知症ケア」の窓口としての役割を持つ。	新人職員の研修参加。 また、研修の予定を確認し、勤務表に反映する。  認知症対応型の施設であることを知っていただき、気軽に相談できるような機会を設ける。(カフェの実施)	6ヶ月 12カ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。